

核兵器廃絶・放射能被害根絶・原子力空母いらない！

# 神奈川県原水協通信

発行：原水爆禁止神奈川県協議会  
横浜市中区野毛町 2-61 大沢ビル 4A  
Tel 045 (231) 6284 Fax 045 (261) 6577  
Mail- kana-gensuikyo@gol.com  
発行日：2017.11.10 No. 138

## ヒバクシャ国際署名・約16万筆へ

神奈川県原水協集約分・2017年11月10日現在

### 11月の6・9行動・県内各地で <各地のレポートから>

- 神奈川県原水協・11月9日⇒伊勢佐木町商店街  
7人が参加し、28筆の署名と1400円の募金が寄せられました。
- 磯子区原水協・10月26日⇒JR新杉田駅ラピスタ歩道橋で  
この日は、8人が参加し、21筆の署名が集まりました。
- 相模原市原水協・11月6日⇒小田急相模大野駅  
この日は、3団体9名参加といつもより参加者が多く、さらに“署名の達人”の参加もあり、40筆以上、チラシ70枚配布でした。先方から駆け寄って署名する人もいました。
- 中原区原水協・11月6日 小杉駅  
この日の署名行動は、久しぶりの好天に恵まれ風もなく行動できました。I CANのノーベル賞受賞で署名行動に力も入り、市民の反応もよかったです。
- 横須賀市原水協・11月6日⇒京急横須賀中央駅  
この日は、5人で元気に行動し、署名は、28筆でした。



11月も全県各地で6・9行動など署名行動が展開されています。現在、ヒバクシャ国際署名を憲法9条改憲NO！署名とともに大きく前進させることが求められます。県原水協の到達は11月10日現在、約16万筆。今年もあと1カ月半。年内目標達成めざし各団体・地域の取り組みを強めましょう。皆さん頑張りましょう。

ヒバクシャ国際署名(2017.11.10現在)

# 158,318筆

## 対神奈川県交渉行われる (平和・基地・国際連帯分野)11/7

### §1 米海軍横須賀基地に関わって

- ◇原子力空母ロナルド・レーガンの「定期修理」による放射性廃棄物が出る「修理」や「搬出」は、日米合意文書エード・ロモワール違反との指摘に対し、低レベルで人体に影響ないのでエード・メモワールに反しないとの回答。
- ◇横須賀基地における原子力艦船の「原子力災害対策」について、県として主体的な対策の充実及び情報公開を強く要求した。
- ◇イージス艦の追加配備など基地機能強化について質疑が行われ、「装備充実は基地機能強化の1つの指標」との見解を示し、県民生活への負担を踏ま判断すると述べ、県民生活に影響を及ぼす場合は、国に対して軽減を求めると述べた。

### §2 米軍川上弾薬庫(東広島)からキャンプ座間への弾薬輸送問題について

- ◇「米軍において適切に管理がなされている」と防衛省回答をそのまま回答した。合わせ「県市協」で不安や危険を与えないように国に求めていくと回答した。

### §3 横浜市域への池子米軍住宅追加建設問題

- ◇2015年9月、横浜市が防衛相に7項目の要請を提出してから今日まで進展がない。

### §4 非核平和行政の推進について

- ◇「ヒバクシャ国際署名」は、「神奈川県非核兵器宣言」と趣旨は合致すると回答。一方で、核兵器禁止条約への参加を国に要請する点について、核保有国と非保有国を含むすべての国の行動が必要と述べ、安倍政権の見解を「詳細」に回答した。参加者から厳しい批判と再質問が出されたが、国や世界の動きを注視すると述べるに留まった。
- ◇日本政府の「必要最小限の核兵器の保有を憲法は排除していない」との閣議決定について撤回を求めるよう要求したことについて、閣議決定を読み上げ安倍政権の見解の立場を県の見解として述べた。これにも厳しい参加者からの批判が述べられた。
- ◇県の回答に「憲法の解釈にかかわらず非核3原則は堅持・・・」とあり、「かわらぬ」の回答は「憲法に則り・・・」とすべきとの要望に明確な回答はなかった。
- ◇県の非核平和事業に関する予算は11万5千円と回答。参加者あまりの少額に唖然としたとの声があり、大幅な増額が強く要求された。



11月7日、いのちとくらしと雇用を守る神奈川県市民実行委員会の「平和・基地・国際連帯」の対県交渉が、横浜市開港記念会館で行われました。交渉には、県当局・政策局などから8人の担当者が参加し、県市実行委からは県原水協・県平和委員会・建設労連・新婦人県本部など20人が参加し、事前に20項目に絞られた要求について、建設的にかつ厳しい交渉が2時間行われました。その主な内容は次の通りです。